



YOU ARE
THE KEY

あなたが
鍵です



会長 佐藤順治 幹事 秋野 忠 クラブ奉仕 吉野 勲 職業奉仕 板垣広志 社会奉仕 小池繁治 国際奉仕 高橋良士 青少年奉仕 丹下誠四郎

出席報告：会員 78 名 出席 57 名 出席率 78.08 % 前回出席率 79.45 % 修正出席 64 名 確定出席率 87.67 %

会員スピーチ

成熟市場で躍進する四輪駆動車

布施 隆 夫君

市川プログラム委員長よりお話があり、私共の会社が庄内地方で高いマーケットシェアをあげ、スバルのメーカーである富士重工業(株)より最高の賞であるダイヤモンド賞を連続5年、本年はスバル特約店の中で全国1位で受賞したことで、自動車に関する話をせいとのご連絡を頂きました。この受賞は全国65社の間のことでして、他さんの大きな系列とは違い、狭い世界のことですのでご辞退申し上げたのですが、よく考えてみますと、地元の皆様に可愛がって頂いたおかげであり、特にロータリークラブの大勢の皆様にご愛顧を賜わっているおかげでありますので、やはり皆様に御礼を申し上げる機会でもあると思ひまして、厚かましくも出て参った次第です。

つきましては、最近の自動車販売状況の中より、「成熟市場で躍進する四輪駆動車」についてお話を申し上げ、皆様の何かのご参考になればと思う次第です。

さて、私どもが庄内地方で皆様にご愛顧賜わっているのは何かと申しますと、厳しい冬の環境の中でも安心して乗っていただき、皆様の足となり、またご商用のお供をする四輪駆動車(4WD)を昭和47年から発売し、現在は取扱車種のすべてに4WD車が勢揃いしていることが大きな要因ではないかと思ひます。もっとも、その前にFF車(前置エンジン

前輪駆動)を昭和41年に、他さんより非常に早く開発し、この車が雪道に強いとの定評を頂いた歴史はありますが、今日ではお客様の層が広がり、若い女性の方やら奥様方も雪道で運転するとなると、やはり4WD車が安心と言われているのが特徴であります。(注：4WD=4WHEEL DRIVE)

ここで、昭和60年(1~12月)における国内販売台数を見ますと、小型車381万台(前年比1.6%増)軽152万台(同4.8%増)合計534万台(同2.5%増)でしたが、その中で4WD車が小型車で15万4千台(前年比3万台増、24.1%増)、軽32万4千台(前年比2万4千台増、8.3%増)、4WD車合計47万7千台(前年比5万4千台強増、13%増)と伸びを示し、50万台市場に迫る勢いを見せました。

特に最近の傾向は5年前に青森、山形、新潟、富山、長野など積雪、山岳地帯を中心に4WD車比率が高かったものが、現在は全国的に4WD車比率が上昇しており、なかでも東京、神奈川、静岡、愛知大阪、兵庫など雪、山岳とはそれほど関わりのない大都市圏でも4WD車比率が大幅にアップしています。つまり、これまでの地域商品、季節商品、一部のマニア向け商品ではなく、あらゆる使用条件のもとで二輪駆動車(2WD車)に勝っていることをお客様が認識し始めたと思われれます。

あなたが鍵です — 会員増強にご協力を!

庄内空港の建設を推進しましょう

次に、4WD車の特徴を申し述べてみたいと思います。自動車はエンジンで発生した動力を車輪に伝えて動くのですが、その動く車輪が前輪のみまたは後輪で、残りの車輪はついて行くのが普通の形式で二輪駆動車といえます。ところが、悪路とか積雪地、凍結路でとても走れないとか、スリップして動けないとかになることがあります。そのときに四輪駆動車は全輪にエンジンの動力が伝えられますので、すべての車輪が力を出すことによって路面に対する摩擦力が増加して動けるようになります。その能力差は二輪時1に対して四輪時4.5の能力を発揮すると云われております。(運転の技術や路面の条件差はあります)このような悪路や積雪地だけでなく、最近車の基本的性能である「走る」「曲がる」「止まる」についても四輪駆動の優れている点あげられています。

「走る」 急発進でも四輪で駆動するので駆動輪スリップがなく、スタートダッシュがいい。直進性がよく、特に高速走行時に効く。

「曲がる」 カーブで遠心力により外側に引ばられる力に強い。二輪駆動車では急旋回時に後部が流れ出す危険がスピードを出しているときにありますが、それが少ない。

「止まる」 急ブレーキを踏んでも、まっすぐに最短距離で止まれるので安全。四輪が機械的につながっているから一輪ロックがない。仮に一輪がロックしようとしても三輪が回してしまうので尻振りやスピンがない。できれば急ブレーキは踏まない方がいいのですが、しかし、とっさの時は急ブレーキを踏むのが人間の心理です。問題はその結果としてよくある道路に残された急ブレーキのタイヤ跡です。蛇行しながらガードレールか対抗車線に突込んでおります。このようなとき四輪駆動ですと、四輪に均等に制動力がはたらくので、まっすぐに止まれるし、制動距離が短くなります。スバルのテストド

ライバーはその体験から安全が30%高いと云っております。

四輪駆動は路面の悪いときだけ使うものと思われておりますが、舗装路、乾燥路、高速道路でも使うべきだと思っております。四輪駆動にしても燃料消費は変わりませんし、タイヤの減りも四輪に駆動力が分散されるので少なくなります。四輪駆動のよさは安全性ばかりではありません。

次に、四輪駆動車発展の足どりについて簡単にふれてみます。

四輪駆動車はもともと二輪駆動車では不足がちな駆動力の向上を狙って開発され、車の可能な限りの運動特性、動力性能の追求から生まれました。

1902年(明治35年)オランダの「スパイカー4WD」やアメリカ、イタリアで同様の高速を競う車として開発されましたが、エンジンの出力や、タイヤの開発が進んで、四輪駆動でなくても十分に性能が発揮できるようになりました。

一方、悪路走行用として1903年(明治36年)にオーストリアで装甲車とトラクターが専用の最初の4WDと云われております。その後第1次、第2次大戦で軍用の4WDが開発され、1940年(昭和15年)にアメリカで“地獄へ落ちても帰ってくるような車”としてジープの原形となった4WDを完成されました。

そして、今日の発達した自動車社会に再び四輪駆動車の気運が盛り上がってきているわけですが、その新しい4WD技術に昭和47年スバルが挑戦して、小型車バンタイプの四輪駆動車を送り出しました。その車は悪路用ではなく、高性能と乗り心地に重点を置いたものでした。開発のヒントは東北電力さんが従来のジープからバンタイプの4WDにしてオールシーズン使用可能なもののご要望でした。中島飛行機機の後身である富士重工業機の元飛行機設計者である技術者達はこの話に飛びつき、新しい時代の4WDを開発し、それ以来他社にない独創性の高い車造りに意欲し、軽貨物車、乗用タイプ、リッターカーと4WD機構をいち早く搭載し、積極的に市場に投入してきております。

この近年は各社さんとも4WD車を発売され、また外国メーカーからも出されておりまして、全世界的に「高速乗用4WD」時代に入りつつあります。

では、最近の4WDの発展の背景についてですが、

- (1) FF（前エンジン前駆動）の技術が確立して、前輪駆動の価格、振動、重量、スペース、信頼性、生産性の諸問題が解決し、4WDの商品化が可能となった。
- (2) モータリゼーションの進展、成熟化に伴い、季節や気象条件、地域環境にかかわらず強力で安全且つ快適に使える交通手段に対する要望が

高まった。

- (3) ライフスタイルが、個性化、多様化するとともに、購買力も増して、4WDが購入対象車種にあげられるようになった。

- (4) エンジンの高出力に伴って2WDの実用域を超えるようになった。

等があげられます。

以上、最近の四輪駆動車状況についてお話し申し上げましたが、拙い、まとまりのない話しになりましたことをお詫びして終りといたします。

会長報告

佐藤 順治 君

1. 匹田良平さん退会の件

匹田さんは昭和59年4月に入会されたのですが、その後クラブ運営については何かとご協力を頂きまして、ほんとうに有難うございました。

今回惜しくも酒田営業所に転勤ということになりましたが、酒田に行かれましてもお身体に充分気をつけられ、ご活躍下さいますようお願い致します。後程ご挨拶をお願いします。

2. 鶴岡西R.C創立20周年記念式典になるべく多くの方の出席をお願い致します。締切日(3月20日)も迫っておりますので、本日中意志表示をして頂ければ大変有難いと思います。

3. 訪台の件

誠に諄い様ですが、締切日(3月末日)も迫っておりますので、よろしくお願い致します。尚、実行委員会委員長を秋野幹事さんをお願いすることに致しました。

4. かねて宮原病院に入院中の内山喜一さんが昨日無事退院されました。近日中には例会にも出席することと思われますのでご報告申し上げます。

幹事報告

秋野 忠君

○会報到着→東京R.C、鶴岡西R.C

○例会変更のお知らせ→遊佐R.C

日 時 3月18日 P.M. 6:30

場 所 富士屋

○ロータリーレートの変更→1986.4.1～1 \$ 180円

退会の挨拶

匹田 良平 君

この度酒田へ転勤を命ぜられまして退会する事になりました。昨年の夏以来体調が思わしくなかった為に、色々ご迷惑をお掛け致しました事を心からお詫び申し上げます。2年たらずの短い期間でございましたが、私にとっては一生忘れる事が出来ない楽しい思い出がたくさんございますし、色々教えられた事、勉強させられた事もいっぱいございました。たくさんの方々とお付合をさせていただき心から感謝申し上げますと共に、今後共よろしくお願い致します。後任者も寒河江の方から参っております。近いうちにお仲間に入れていただきたいと思っております。私に対する以上のご厚情を賜りますようお願い致します。長い間の友情を心から感謝致します。有難うございました。

次年度会長・幹事研修セミナーに出席して

山口篤之助 君

去る8日(土曜日)次期会長・幹事研修セミナー

が米沢ホテル・サンルートで行われましたので、ご

報告致します。

松田次期幹事の運転する車に便乗し朝8時出発。晴天に恵まれ気温もぐんぐん上り、4月頃の陽気でした。国道112号山越え、朝日連峰の雄大な雪景色を眺めながら新緑もよし。紅葉も良いが又格別の風景でした。米沢には11時10分頃着きました。

12時30分より登録開始、午後1時松永ガバナーの点鐘によって開会されました。全体会議での九里茂三ガバナーノミニの挨拶の要点を申し上げます。始めに、ガバナーノミニに指名されてからの心境を語られ、受身の生活からは何も生れはしない、切角のチャンスを捨身で受けなければならないと思うようになったと話されました。又、国際協議会での感動した事は、R.I.会長を頂点とする幹部の方々の「壮大なる奉仕の夢」を肌で感じとる事が出来た事だそうです。特に世界の平和と幸福の為にあらん限りの力を結集しようと呼びかけるスピーチと、具体的な提案に私の心を未来への限りない前進と云う人間の理想に結びつけてくれましたと語られました。

又、地区組織としてロータリー情報、広報委員会の拡大を計画して、会員の参考になるような情報を出来るだけセレクトして、勉強に役立たせてもらいたい。その意味で広報活動の拡大の為に、分区代理の補佐役である広報委員をお願いし、クラブ会長・幹事共々お骨折りを願いたい。

第二の着眼として「高令者への心づかい」について、日本は高令者人口が急激に増加し、世界でも類を見ない高令者社会が予測される。各クラブが何らかの企画を取り上げられることを提案され、地区大会でもディスカッションを計画されるつもりだそうです。

第三に国際理解を求める青年たちへの奉仕としてG・S・E計画を第676地区から受入れ実施し、出来るだけ経費をかけないようにホームステイを原則として、永い友愛の絆をより合せたいと考え、G・S・E委員会の密接なチームワークによって成功させたいと云われました。

14:10～15:30分科会 マットカパラス

リーダー 九里茂三ガバナーノミニ

アドバイザー 松永輝彦ガバナー

R.I.会長M.A.T カパラスの紹介があり、

フィリピン出身 マニラロータリークラブ会員
R.I.テーマ 「ロータリーは希望をもたらす」

1986～1987年度会長プログラムによって、地区ガバナートR.Cは特別な方法で希望をもたらす機会に恵まれます。次の6つの目標の内4項目を達成したロータリークラブに贈られる。

1. 会員を3%純増せよ。退会による減少を10%と考慮に入れると、13%の全体的増加が必要である。
2. 新ロータリークラブのスポンサーとなる事。
3. 職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕において、一つの新奉仕プロジェクトを始める事。
4. 地区協議会にはクラブ会長・幹事が参加する事。
5. 地区大会に於ける出席会員数を昨年より10%上廻る事。
6. ロータリー財団の寄附を昨年より10%増える事。

以上の項目を是非実行してもらいたい。

又、G・S・Eの受入れについて、9月末には受入れをしたい。山形空港から山形空港でお帰り願いたい。前半は福島県いわき、郡山、福島と会津、年次大会をはさんで山形地区と庄内地区とを廻る予定。

他、全体会議とだぶる事もありますので省略し、以上申し上げます。九里先生は学校の先生だったので、大変お話、いや講義が上手でわかり易く教えてくれました。

アドバイザーの松永ガバナーは、ノミニの国際協議会の出席の労をねぎらわれ、次期会長は地区協議会の為にも早々に勉強される様強調されました。

ス マ イ ル

- 塚原初男君 訪台準備委員長より秋野実行委員長へ無事引継ぎ出来たので。
- 秋野忠君 訪台実行委員長に選任されたので。
- 藤川享胤君 米国より7週間ぶりに無事帰国出来たので。
- 笹原桂一君 3女奈津さんが大学合格したので。(津田塾・聖心女子・東京女子)